

2008年9月18日(木)

利活用WGの進め方について

1. 利活用WGの活動内容について【第1回利活用促進部会にて承認済み】

- ・本WGは主にIPサービスに関する利活用事例の収集、分析を行うこととしており、以下のような取り組みを行う。
 - 会員企業へのアンケート調査
 - ユーザー(オピニオンリーダー層)向けアンケートなどの分析
 - 諸外国の事例調査
 - オールIP時代のサービス展望(予測)

2. 具体的なテーマの選定について

- ・テーマの選定については、構成員の発意によりご提案のあったテーマは基本的に全て取り上げていくこととした。また、調査を希望するテーマを提示した構成員はWGでの取りまとめ役となり、調査活動を行うこととした。

3. アンケートの実施と調査対象の決定

- ・2008年6月11日(水)～6月18日(水)にかけ、構成員15社に対して実施。10社よりアンケートの回答をいただき、7月23日(水)の利活用WGに諮った結果、第1テーマとして、慶應義塾大学他、数社からご提案頂いたサービスの中で、同様の回答が多かったIPTVを取り上げることとした。
- ・慶應義塾大学が取りまとめ役となり、第1テーマであるIPTVを調査することとなった。

4. テーマ1の進捗について

- ・以下の通りサブテーマを設け、文献調査やヒアリング等を通じてIPTVの現状と今後の動向を取りまとめている。

【サブテーマ】

- 国内外のIPTVサービスの状況調査
- IPTVの国際標準化動向の調査
- 国内での標準化動向の調査
- IPTVサービスの今後の進展と課題

- ・上記～について、概ね10月末までを目処に一次調査を行い、さらに深掘りすべきトピックを導きだす。その後、年明けを目処に～までの調査報告を行う。

5. その他のテーマについて

- ・テーマについては制限をせず、構成員より提案のあったテーマについて、順次追加していくこととする。